

2017年9月1日

【格付変更/維持】**損害保険ジャパン日本興亜**

発行体格付： AA- → AA [格付の方向性：安定的]

コマーシャルペーパー： a-1+ (維持)

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険

保険金支払能力： AA- → AA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

R&Iは、SOMPOホールディングス(証券コード:8630)傘下で保険事業を営む損害保険ジャパン日本興亜および損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険の格付をAAに引き上げた。2015年6月に格付の方向性をポジティブに変更して以降も、国内損保事業の収益性の改善が続き、国内生保の事業成長と海外保険のM&A(合併・買収)により、グループの収益基盤が強化された。ERM(統合的リスク管理)の取り組みも進展し、内部留保の積み上げや保有株式の売却継続でグループのリスク耐久力も改善した。

SOMPOホールディングスグループの収益力は格付に見合っている。国内損保事業のコンバインド・レシオ(CR、正味保険料収入に対する保険金および事業費の割合)は、2017年3月期で95.2%と、他の2グループよりやや見劣りするものの、格付対比で良好な水準にある。2016年4月からの中期経営計画で実施しているITシステムの先行投資による事業費効率化で、さらなるCRの改善が期待される。ただ、自動車の保有台数の伸びは今後期待しにくく、収支にマイナスに影響する消費増税や民法改正による法定利率の引き下げも予定されている。加えて、値上げが続いた自動車保険料も2018年からは値下げが想定される。大規模自然災害などで単年度の収益が悪化する可能性は少なくない。事業費の効率化の取り組みと合わせて、慎重なプライシングにより格付に見合った高い収益性を持続できるか注目していく。国内生保事業は、金利が低迷する中でも収益性の高い第3分野の保有契約が順調に増加している。M&Aにより海外保険事業も拡大しており、グループの事業・収益プロフィールの改善が今後も進んでいくとみられる。

損保ジャパン日本興亜のリスク耐久力は、昨年度に投資した米国を基盤とする企業保険大手のEndurance Specialty Holdingsグループ(現Sompo International)の負担でやや低下したものの、グループ全体のリスク耐久力は格付に見合う。自然災害による大規模な保険金支払いはここ数年起きておらず、利益を押し上げてきたが、事業の特性上、多頻度・大型化する自然災害リスクの高まりには留意が必要だ。首都直下地震などのテールイベントが発生した場合、保険金支払いのみにとどまらず、金融・資本市場の混乱に伴う資産運用損失も加わることが想定される。国内の自然災害リスクと株式保有リスクが集中したリスクプロフィールを考慮すると、格付を維持することが困難な状況に陥るリスクがある。ERM強化の取り組みを続けながら、事業成長によるリスク分散、政策保有株式の売却の継続、利益による内部留保の積み増しでリスク耐久力の質の改善を今後も続ける必要がある。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273
格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。

【個社の評価】

○損害保険ジャパン日本興亜

SOMPOホールディングスグループの損害保険事業の中核会社で、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。2014年9月の合併により単体では国内トップシェアになった。M&Aを通じた海外展開は他の大手2グループより遅れていたが、Enduranceの買収でグループの海外事業のプラットフォームを構築した。欧米保険市場への地域的な展開力が高まると同時に、事業面でも企業分野や再保険分野が強化されることで、リスクプロファイルの分散が期待できる。グループへの統合プロセスを着実に遂行し、収益変動を抑えた元受事業へのシフトや、規律ある保険引き受けによる事業成長を通じて利益を積み上げていけるか注目している。

○損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険

グループの生命保険事業における中核会社で、持株会社であるSOMPOホールディングスの100%子会社。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。

損保ジャパン日本興亜の損保代理店網を活用した生損保の併売戦略を軸とする。このほか、生保代理店や金融機関、税理士・会計士、直販営業社員などマルチチャネルで展開している。金利低下の影響を受けているものの、高い収益力を維持している。リスクとバッファのバランスも適切に管理されている。

2016年4月からの中期経営計画では、第二の創業期と位置付け、健康にフォーカスしたビジネスモデルへの変革を標榜する。デジタル戦略も含めた商品、サービス、チャネルの一体化による保有契約件数、修正利益の中長期的な倍増を計画しており、その進捗を見守る。

【格付対象】

発行者：損害保険ジャパン日本興亜

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA- → AA	安定的	
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	3,000	無担保	a-1+ (維持)

発行者：損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	AA- → AA	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	中島 快
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	細田 弘

信用格付を付与した日	2017年08月28日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015. 05. 01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] 損害保険 [2017. 05. 18] 生命保険 [2013. 10. 31] 金融グループの格付の考え方 [2013. 07. 31]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html	
格付関係者	損害保険ジャパン日本興亜 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保され ている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性 が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することが あります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧下さい。